

ヒドラジン

1. 物質特定情報

名称	ヒドラジン	水加ヒドラジン
CAS No.	302-01-2	7803-57-8
分子式	$\text{N}_2\text{H}_4/\text{H}_2\text{N}-\text{NH}_2$	$\text{N}_2\text{H}_4 \cdot \text{H}_2\text{O}$
分子量	32.05	50.06
備考		

(日本語版 I C S C,13901)

2. 物理化学的性状

名称	ヒドラジン	水加ヒドラジン
物理的性状	刺激臭のある、無色で発煙性の吸湿性液体	無色発煙性アルカリ性の液体
沸点 (°C)	113.5	120.1
融点 (°C)	2	−51.7
比重 (水=1)	1.013	1.032
水への溶解性	非常によく溶ける	混和しやすい
水オクタノール分配係数 (log Pow)	−3.1	—
蒸気圧 (kPa(20°C))	1.4	—
相対蒸気密度(空気=1)	1.1 (計算値)	—
20°Cでの蒸気/空気混合気体の相対密度(空気=1)	1.00 (計算値)	—
引火点 (°C(C.C.))	38	—
爆発限界 (vol%(空気中))	1.8~100	—

(日本語版 I C S C)

3. 主たる用途・使用実績

用途	水加ヒドラジンは、プラスチック発泡剤製造用、清缶剤（脱酸素素及び脱炭酸ガス）、還元剤、重合触媒、及び各種誘導体、試薬、農薬（植物成長抑制剤及び除草剤製造用）、水処理剤として使用される。 水道では、エポキシ樹脂粉体塗料の原料として使用されている。		
使用実績 (H11)	名称	無水ヒドラジン	水加ヒドラジン
	使用量	—	—
	生産量	—	15,312t
	輸出量	—	—

	輸入量	—	—
--	-----	---	---

(13901)

4. 現行規制等

水質基準値 (mg/l)	なし
監視項目指針値 (mg/l)	なし
その他基準 (mg/l)	薬品等基準×、資機材等基準×、給水装置基準×
他法令の規制値等	
環境基準値 (mg/l)	なし
要監視項目 (mg/l)	なし
諸外国等の水質基準値又はガイドライン値	
WHO (mg/l)	なし
EU (mg/l)	なし
USEPA (mg/l)	なし

5. 測定手法

吸光光度法により測定できる。

吸光光度法による定量下限 (CV20%) は、5 µg/L である。

6. 水質基準値について

我が国では、原水の汚染の観点からは水道水質について特段の問題がないと考えられるものの、水道施設の資機材や給水装置からの溶出の観点から必要な場合には、水質基準は設定されていなくとも、その溶出に関して基準を設定するなどの措置が取られている。ヒドラジンについては、現在、水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装についての日本水道協会規格の塗料の品質として、0.005mg/L 以下であることとされている。

水道水での検出状況等のデータは不足しており、要検討項目として今後知見が収集された段階で検討するのが適当である。

参考文献